



題 字  
初代会長 松野盛吉  
定 価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)

発行人  
〒010-0001  
秋田市中通4丁目3-23  
秋 田 県 消 防 協 会  
会 長 中 泉 松 之 助  
電 話 018-832-3791  
FAX 018-834-2706

印 刷  
〒010-0951  
秋田市山王7丁目5-29  
株式会社 松原印刷社  
電 話 018-862-8760

平成十七年

春の褒章受章者及び春の叙勲受章者並びに  
第四回危険業務従事者叙勲受章者が発表される

平成十七年の春の叙勲が、四月二十八日に発表された。  
この度、本県関係者で晴れの栄誉に輝いた方は、五月十日秋田ビューホテルにおいて知事から叙勲の伝達が行われた。「藍綬褒章」では自治功勞として秋田県消防協会長、秋田県議會議員の中泉松之助氏、消防功勞として秋田県消防協会副会長、八郎瀧町消防団長の村井昇氏が受章致しました。

五月二十四日日本消防会館ニッショーホールでは春の叙勲受章者「瑞宝双光章」五名、「瑞宝単光章」十二名、翌二十五日日本青年会館大ホールでは第四回危険業務従事者叙勲受章者七名、二十七日総務省講堂では平成十七年春の褒賞受章者一名の受章式が行われた。受章者の方々には、心からお祝い申し上げます。

平成十七年春の褒賞受章者

【藍綬褒章】



秋田県消防協会長  
秋田県議會議員  
中 泉 松 之 助



秋田県消防協会長副会長  
八郎瀧町消防団長  
村 井 昇

平成十七年春の叙勲受章者

【瑞宝双光章】

仙南村消防団 団 長 伊 藤 慶 治  
藤里町消防団 団 長 伊 藤 禮 二  
稲川町消防団 団 長 古 関 朝 義  
鹿角市消防団 団 長 菅 原 德 弥  
若美町消防団 団 長 鈴 木 新

【瑞宝単光章】

雄物川町消防団 団 長 石 川 順 次 郎  
河辺町消防団 副 団 長 石 塚 雷 治  
南外村消防団 副 団 長 伊 藤 繁  
横手市消防団 分 団 長 小 田 島 龍 太 郎

平成十七年度全国統一防火標語

『あなたです 火のあるくらしの 見はり役』

西仙北町消防団 団 長 齋 藤 喬  
五城目町消防団 分 団 長 佐 々 木 賢 一郎  
鷹巣町消防団 分 団 長 佐 藤 辰 雄  
神岡町消防団 分 団 長 須 川 恭 一  
昭和町消防団 副 団 長 菅 原 辰 一  
秋田市消防団 分 団 長 杉 山 重 三 郎  
皆瀬村消防団 分 団 長 高 橋 久 宗  
阿仁町消防団 副 分 団 長 松 橋 國 男



春の叙勲受章者 (ニッショーホールにて)

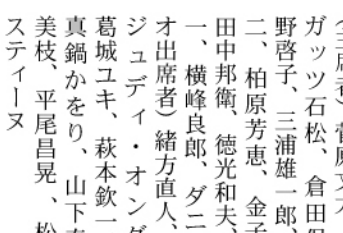
第四回危険業務従事者叙勲受章者

【瑞宝単光章】

大曲仙北広城市町 消防司令 黒 田 清 之 助  
村圍組合消防本部  
湯沢雄勝広城市町 消防司令 栗 沢 長 治  
村圍組合消防本部  
仁賀保地区消防 消防司令 須 田 與 彌  
組合消防本部  
横手平鹿広城市町 消防司令 山 口 堅 吉  
村圍組合消防本部  
横手平鹿広城市町 消防司令 栗 田 六 夫  
村圍組合消防本部  
大館周辺広城市町 消防司令 斎 藤 孝 三  
村圍組合消防本部  
秋田市消防本部 消防司令 千 葉 謙 一



危険業務従事者叙勲受章者



消防応援団の旗揚げと二一九万人宣言が平成十七年五月二十日虎の門パストラルで行われた。

昨年は、全国各地を襲った台風などの風水害、さらには新潟中越地震等災害の恐ろしさを痛感させられました。災害や火災などの際には消防が被害を最少限度にとどめるため懸命に活動している消防人には、消防署に勤務する消防職員と別に職業を持ち自らの意思で参画する消防団員、そのほかに自主防災組織(婦人防火クラブや町内会等)がありますが地震や災害が発生すれば互いに連携して力を合わせていますが、消防団員については高齢化が進み、かつてのように若い人達が消防団に入るのが当たり

前だということがなくなりました。地域に密着し、地域の防災の中核となる消防団を維持していくことは、安全な地域づくりのためにぜひ、必要なことであり、消防職員、消防団員、地域の自主的な防災関係者に対して激励していただくことは大きな力になることから、全国的に著名な方に応援を呼び掛けたところ快く賛同し、無報酬で駆け付けてくれた。

徳光和夫アナウンサーの司会により徳田会長のあいさつ、小泉内閣総理大臣、麻生総務大臣からそれぞれ激励のことばがあり、応援団の個人個人からは消防職員・消防団員の活動に敬意を表し、団員の減少を食い止めるためにも、消防に係わる思いを語って頂くと共に若い人には消防に携わる使命感を期待してありました。その後、消防関係者との交流パーティーにも参加された。

応援団の皆様をご紹介します。

(主席者) 菅原文太、宇梶剛士、小倉優子、ガッツ石松、倉田保昭、千葉敏子、平野啓子、三浦雄一郎、薬師寺保栄、大沢敬二、柏原芳恵、金子絵里、水前寺清子、田中邦衛、徳光和夫、細川たかし、美川憲一、横峰良郎、ダニエル・カール、(ビデオ出席者) 緒方直人、北島三郎、西郷輝彦、ジュディ・オング、(趣旨賛同者) 葛城ユキ、萩本欽一、平尾誠二、舞の海、真鍋かをり、山下泰裕、武田修宏、浜美枝、平尾昌晃、松岡修造、マリ・クリステイヌ

**がんばれ 消防**

消防応援団の旗揚げと  
消防関係者との  
交流パーティー  
が行われた。



森田ポンプ ラビットポンプ  
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
各種消火器 消防機器一式

株式会社 **協立**  
株式会社 **能代消防センター**

〒016-0846 能代市栄町12の3  
TEL (0185) (52) 6361  
(52) 6494

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋田県代理店

株式会社 **高義商会**

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183) (42) 2125  
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182) (42) 0032  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588

**株式会社タカギ**

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ  
トーハツポンプ  
各種消防機械器具  
消防設備保守点検

キンバイホース  
シバラポンプ  
各種消火器

地域の防災、災害対策に貢献!

**消防 設備**

ポンプ自動車  
小型ポンプ  
ホース

火災報知器  
スプリンクラー  
消火器

**猿田興業株式会社**

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551代  
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

平成十七年度

# 秋田県消防協会代議員会

中泉松之助会長・奥山利八副会長・中田潤副会長・村井昇副会長再任  
平成十七年度事業計画・予算決定

## 平成17年度(秋)秋田県消



中泉松之助会長のあいさつ

平成十七年度秋田県消防協会代議員会が、五月二十四日午後一時半から秋田市(イヤタカ)で開催された。奥山副会長から開会のことば、代議員、来賓、役員が起立し、消防(職)団員四十四名の御霊に対して黙祷を捧げた後、中泉会長があいさつし、続いて来賓として秋田県出納長品田稔氏、秋田県議会議長鈴木洋一氏、秋田県警察本部警備部長渡辺孝雄氏の祝辞、秋田県議会総務企画委員長小田美恵子氏ほか八名の来賓紹介と祝電のご披露があった。議事に入り、寄付行為の規定に基づき中泉会長が議長を務め、議事録署名に仁賀保地区消防団長佐藤勝男氏と増田町消防団長季子春氏を指名し、各議案を審議した。

まず、平成十六年度の事業の概要報告、一般会計決算、消防会館特別会計決算、特別会計罹災互助会決算を一括説明後、監事



渡辺孝雄秋田県警本部警備部長



鈴木洋一秋田県議会議長



品田稔秋田県出納局長

の大仙市消防団副団長草引忠誠氏から一般会計、特別会計の経理及び協会業務の運営全般に亘り、監査したところ正確に処理されていることの監査報告され、満場一致で原案とおり承認された。

続いて、平成十七年度の事業計画及び予算、その他の議案について原案どおり可決承認された。また、本年度は役員改選期のため審議された。選出方法については、議長一任となり、議長は各支部から一名の選考委員を指名し、協議の結果は、選考委員長の米沢鹿角市消防団長がつぎの役員が選出されたことの報告をされた。

- 会 長 秋田市消防団長 中泉 松之助(再任)
- 副会長 湯沢市消防団長 奥山 利 八(再任)
- 副会長 能代市消防団長 中田 潤(再任)
- 副会長 八郎潟町消防団長 村井 昇(再任)

- 監事 小坂町消防団長 本田隆 爾(新任)
- 監事 湯上市消防団長 鎌田健 一(再任)
- 監事 大仙市消防団副団長 草引 忠誠(再任)

役員改選の選考委員会の間に、第四十二回秋田県消防操法大会の小型ポンプ操法・ポンプ車操法出場順の抽選会を行った。その順位は表のとおりである。

支 部 名	出場順位
鹿角支部	五
大館北秋田市支部	九
能代市山本郡支部	一
男鹿南秋支部	六
秋田市支部	二
本荘由利支部	八
大仙市仙北郡支部	七
横手市平鹿郡支部	四
湯沢市雄勝郡支部	三

平成十八年度の秋田県消防大会の開催地は大館北秋田市支部に決定になりました。以後特別の事由が発生した場合を除き、概ね、各支部が表のとおり持ち回りとすることが了承されました。

回	年 度	支 部 名	開催市
五十八	平成十七年度	大仙市仙北郡支部	大仙市
五十九	平成十八年度	大館北秋田市支部	
六十	平成十九年度	能代市山本郡支部	
六十一	平成二十年	秋田市支部	
六十二	平成二十一年	横手市平鹿郡支部	
六十三	平成二十二年	本荘市由利支部	
六十四	平成二十三年	鹿角市支部	
六十五	平成二十四年	湯沢市雄勝郡支部	
六十六	平成二十五年	男鹿南秋支部	
六十七	平成二十六年	大仙市仙北郡支部	



秋田県消防会館の借地(県有地)の取得について審議されました。消防会館は昭和三十六年に二階建てを、昭和四十六年には五階建てを増築し、三から五階には宿泊施設を設け今日まで経営してきましたが、建物の老朽化と水回り等の

設備を更新しなければならぬ状態と周辺へのホテル建設ラッシュ、利用客の落ち込み、県内の交通網の整備などにより宿泊客の利用減の状況にあり、このまま維持することは困難である。また、改築するには莫大な経費を要することから土地を取得し、権利関係を整理することに対してご承認を得ることができました。

最後に、協議報告事項について説明があり、第五十八回秋田県消防大会は七月八日午後一時半から「大仙市大曲市民会館」で、第四十二回秋田県消防操法大会は九月六日十時から秋田県消防学校地内で、第十一回全国女性消防団員活性化富山大会は十月五日十一時半から「富山市芸術文化ホール」で、第十七回全国女性消防操法大会は十月二十日九時から横浜市「日本消防協会中央消防訓練場」で開催されることになりました。消防互助会金の拡大推進県として、秋田県が対象になりました。火災共済、福祉共済についても団員へのご理解とご加入をお願いいたします。

最後に、消防会館宿泊利用者の状況と会館の利用状況が報告された。中田副会長の閉会の言葉で、全日程を終了しました。